

小矢部市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム 2025

I 目標

小矢部市耐震改修促進計画に定めた目標の達成に向け、住宅所有者の経済的負担の軽減を図るとともに、住宅所有者に対する直接的な耐震化促進、耐震診断実施者に対する耐震化促進、改修事業者の技術力向上、住民への周知・普及等の充実を図ることが重要である。

このため、小矢部市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム（以下、「アクションプログラム」という。）では、毎年度、住宅耐震化に係る取組みを位置付け、その進捗状況を把握・評価するとともに、プログラムの充実・改善を図り、住宅の耐震化を強力に推進することを目的とする。

II 位置付け

アクションプログラムは、小矢部市耐震改修促進計画第3章に基づき策定する。

III 取組内容・目標・実績

（1）取組内容

【財政的支援】

- ① 住宅の耐震改修工事費（補強設計費等含む）に対する補助を実施する。
- ② 被災住宅の建替え及び耐震改修費に対する補助を実施する。

【普及啓発等】

- ① 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進
 - ・市内の旧基準住宅を対象に、宛名入りダイレクトメールの送付または戸別訪問を実施する。
- ② 耐震診断実施者に対する耐震化促進
 - ・耐震診断後一定期間経過しても耐震改修を行っていない住宅所有者に対して、ダイレクトメール等による耐震化促進を実施する。
- ③ 改修事業者の技術力向上等
 - ・改修事業者に対する耐震改修工法等に係る説明会を、富山県と連携して年1回以上実施する。

- ・市ホームページにおいて、耐震診断事業者リストを作成し公表する。

④ 市民への周知普及

- ・広報紙やホームページで、耐震化の必要性や補助制度について周知を行う。
- ・庁舎や出先機関にリーフレットを設置し、耐震化の必要性の周知、啓発を行う。
- ・各種イベントにて、リーフレット等の配布や補助制度の説明を行う。
- ・固定資産税納税通知書にチラシを同封し、補助制度について周知を行う。

（2）R7年度目標

- ・住宅に対する耐震改修補助件数：7件

（3）前年度までの実績

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
診断	6	10	8	1	16	6	4	12	4	8	5	21	38
改修	0	0	1	0	0	0	1	0	1	2	1	2	1

IV 自己評価

（1）前年度の取組実績

- ・広報及び市ホームページに補助制度の説明を掲載、庁舎窓口にリーフレットを設置した。
- ・耐震診断後一定期間経過しても耐震改修を行っていない住宅所有者に対して、ダイレクトメールを送付した。
- ・県と連携し、改修事業者向け技術力向上のための講習会の開催及び耐震改修事業者のリストの作成、公表を行った。
- ・イベント等において、リーフレットの配布や補助制度の説明を行った。

（2）前年度の課題

- ・今後も事業の推進に向け、引き続き補助制度の利用促進を図る必要がある。

（3）改善策

- ・アクションプログラムに基づき、耐震化の重要性や補助制度の積極的なPRを継続して行う。